

现代哲学思潮 研究论文集
前言

◎ 哲学的意义

哲学 1
哲学的意义 (根本意义 - 前知意义) の思考の本質
哲学 2
哲学の根本意义は... - 何の根本意义
何の学の根本意义

方法 --- 科学の知識の境 --- ... 直感

第一 Kant 前の哲学 } = 近代哲学
十八世紀の英国

近代批判的哲学の中心問題

哲学の領域の整理 --- phusei ... thesei
道德 - 自由 - 幸福 --- 真実 - 目的
普遍必然的の --- 相対的 - 個別的の

① Sophist 哲学の整理

中心の thesei ... Relativism
増進 - 破壊の辩证

② post-Kantian 批判的哲学の phusei & thesei

近代哲学の整理 --- 科学の知識の境 --- ... 直感
近代哲学の整理 --- 科学の知識の境 --- ... 直感
近代哲学の整理 --- 科学の知識の境 --- ... 直感

近代哲学の整理

2+2=9

absolute といふ概念化 (70%)

2+2=4 は真理といふ以前に神秘的真理

70% 17P 世界の観念 --- 究極の観念の右界

eidos

道徳の中心 --- (道徳世界)

P 及び A 世界の同一性 (17P)

理想の観念的存在 --- 普遍性の形式

前報

(1) 理想の観念の存在

普遍性

eidos --- hyle

観念 --- 形式

matters 材料

(Idealism)

P 及び A 世界の観念

二つの世界の観念

Qualism

Nomism

(2) 理想論

道徳真理の普遍性 --- 形式

二) 十八世紀英國経験論の哲学

近代に於けるギリシヤ思想の基礎 --- Sophist 対 Platon

英口経験論 (John Locke, Berkeley, D. Hume, David H. Mill 等)

ソフィストは redativism と代換す

認識の普遍性の存在 --- doubt --- (道徳)

1) 2) naive Realism の批判 Tones

例 色 colour -- taste 味

その心その Sein (Being) は Bewusstsein

Immanence-theory の批判

その心その成りとはその心その Sein の "sich selbst"

③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

Abbild の意味

Realism --- Sein の先 --- Denken 以後

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① 连续字义与逻辑

probabilian -- 古代对决定论的怀疑

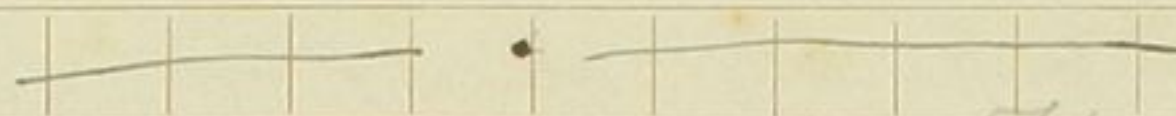
入、出のRelationum.

粒子的决定与连续 -- 逻辑的

② 连续字义在逻辑系统中的地位 --

果在逻辑系统中 -- 普遍的与特殊的

粒子及非粒子是连续的吗



第二 Kant 哲学的意义及问题

Kant 9/1/10

一 逻辑、道德、科学、普遍性及其比较

Kant 是 1-1771. 1787-1797 年来
逻辑与科学的关系是普遍的与特殊的
在逻辑与科学的关系

① 逻辑的本原

② Kant 的 -- 逻辑与科学的关系 -- 逻辑

逻辑与科学的关系 -- 逻辑与科学的关系

逻辑与科学的关系 (逻辑与科学的关系)

粒子普遍性及其比较的逻辑

Kant 的逻辑与科学的关系 -- 逻辑与科学的关系

逻辑与科学的关系 (逻辑与科学的关系)

9/10

a priori

a posteriori

③ 科学及逻辑

科学的本原与逻辑的关系

逻辑与科学的关系

科学

普遍的与特殊的

逻辑与科学

二 2つの方向の轉回の意義 (Kopernikanische ^UWendung)

① 1-の說明

対象の認識... 経験的知識の分析を通じて
経験的知識の分析を通じて

Idealism

二の Immanenztheorie である

X 主観 (意識) は 対象の 形式的 及 範疇の 要素

projectiv

対象の認識に richten する

affigieren
gegeben

② 直観形式 (Anschauungsform) と 範疇 (Kategorien bei Kant)

a priori... rein... transcendental... の意義

物の 存在に 関する 知識... 因果の 知識 等

③ 対象の本質... Energie の 増減 等

は 対象の Kategorien の 要素

④ 先験的 範疇 の 意義

Transcendentale Apperception は Kategorien の 要素

⑤ 此の Einheit の 意義

⑥ 此の 個人 主観 等... Bewusstsein überhaupt

⑦ 1-の 意味

主観の 認識の 原理 等... 此の 対象 等

主観の 統一... Idealism の 本質

Handwritten notes in a circle

Vertical handwritten notes on the left margin

三 物自体論の根本疑問

① 一般性と特殊相 --- 普遍と特殊

Form & Materie ist allgemein ---
Specification & Gegebenheit Afficieren ist (可) 可
Form & Inhalt への (可) 可
Matters

Kant は 普遍性と特殊性を
Idealism 92 脚注 95 頁 矛盾

② 物自体論の根本疑問

Afficieren の 根本 212 頁 以下 ---

可 可 Kant の 根本 --- 不可知 (不可知性)

Idealism & Realism への 合致 疑

Kant は 不可知

可 可 物自体論 への 不可知

④ Kant 物自体論の根本疑問 --- 経験論 への 不可知

Salomon Maimon

Fichte

Hegel

不可知性
物自体論

第=

新ドイツ語学 (Baden schule (Südwestschule) の本に於て
Mindelband, Rickert, Lask ... の概観

① バイエル語学の特徴

Richte-Meinel 等の Idealism の行方
Idealism の Romantisierung

其の反対の positivism, materialism
と "Zurück zu Kant!" 其の理想

Idealismus の終止が本に於て新ドイツ語学の本質
故に物自体を以て ... 先験的観念の

バイエル語学の特徴は先験的観念の
存在論の原理の正否に在りて非ず

新ドイツ語学は文化の建設に於て
殊に先験的観念の正否を以て其の標準とする

(物自体の正否 - 正否の標準)

② 普遍性規範 - 何故 - 及び - 安否性
allgemeingültige Normen - Werte - Geltung

Mindelband
transzendental
Sollen

Rickert
Kategorie der Gegebenheit

本質的
価値
Sollen

の正し

allgemein

の正し

Value

① ベーテの字の対立関係

KantのTranszendentalismusの印は持たせられ
又 geltungの範疇を論ずる事はアト一或
an sichの絶対的の存在と認められ
(自我の存在に於て)

× 数学的論理の範疇に於て

(hyle)の存在は... Sinnlichと名する事は可能
此のirrationalの存在は... 認められ
mathematischと名する事は可能
mathematischの存在は認められ



Idealistischの印に於て

②

Marburger Schule (Marburger Schule)
Cohen - Natorp 等 Ernst Cassirer, H. Reichenow

③ 又... 字の特徴 ベーテの印の存在は

pure Idealismの印に於て... 認められ

pure Idealismの印に於て... 認められ

Subject & object と呼ばれ

Subject & object と

一石 Fichte の印に於て erzeugende Tätigkeit

と名する... pure logical

一石 Fichte の印に於て

Mathematischの印に於て

純粋

④ 純粋思想 (Reines Denken)

思考と思想 先天的存在

此思想はハートマンが『Philosophie der Sprache』に於て『linguam sedem』
と述べて居る... 此を現代研究の結果又い復言...
現代研究の結果 (Idee) と解く... 學の目標、此等
思想の Sein と Sein である

⑤ 純粋思想の本質

Dynamisch & erzeugende Thätigkeit
Urtheil と本質

歴史と思想の Dualismus と 結合

利権創始の本質

純粋思想の本質 歴史と思想の Dualismus と 結合

⑥ Sein & Denken との Identität

① Empfindung の内容 (Vorgabegeben である)
Bewusstheit - Aufgegeben
これら 2 の Wirklichkeit である

② Princip des Ursprung.
Vorgabegeben である - 従って 利権の 2 である

③ Kategorien... Einheit - Mehrheit
(終り 2 である)

① 論理の外にそのものの力

② 又、知識の対立理由

論理的な条件を必要とする... 外にそのものの

性質は Rationally に説明出来るもの

の者 Irrational なるもの

Empfindung の説明

明に説明出来るもの

Irrational とは説明

第五 現象学 (Phänomenologie)

E. Husserl ... M. Scheler

Bolzano の存在論の批判

は Husserl の批判

① 現象学の本質

Wesen, Eidos の事 ... 現象の Wesen の事

は Intuition ... Anschauung である

② Reines Bewusstsein の phänomenologische Betrachtung.

は Wesen への descriptive study の本質

は Wesen の本質の事

現象の本質 Idealismus である

本質の現象性である

Kant の Idealismus である

② 現象(事)の時代 (Epochy)

現象の普遍世界... 事としての生成計 - 事としての
超越世界と有限世界 事としての

事としての Reines Bewusstsein

事としての Bewusstsein überhaupt

③ 現象学の本質

Reines Bewusstsein の立場としての Immanenztheorie.

Gegenstand と immanent と 事としての

事としての überhaupt の立場としての 事としての 事としての

eigenartig の transcendent.

Intentional

意図(行為)の事としての

Noesis と Noema

事としての an sich の事としての

Wahrheit an sich の事としての 事としての

事としての 事としての 事としての

事としての Geltung の事としての

④ 現象学の本質

Wesen の研究

philosophische Methodologie の事

Idealismus の事としての 事としての

第六 新實在論及新形而上学

Rhul -- Kühle -- Volkelt 等の Realismus

N. Hartmann ... Schopenhauer 等の新形而上学

① 新實在論の本質

Kant の實在論の概観 --- 以後及新形而上学の

Idealismus の概観及びその系譜

Idealismus に對する特殊の批判的考察

(其の5) 及びその批判的考察

② 新實在論の科学の基礎

(其の5) 及びその批判的考察

◀ Idealismus の概観及びその Realismus への

③ Irrational 及びその批判的考察

Irrational 及び Leben Worte

④ Transcendent 及びその批判的考察 --- 及び

übersinnlich - überzeitlich の Metaphysik

⑤ Metaphysik と Realismus

⑥ Kant と Metaphysik

② 存在論の意義及び論証

Külpe & Realisierung

数学的真理の論証

Realitätの位置に於ける認識の論証

Welt

Transsubjektive 世界の存在

その位置に於ける論証の論証

Nartmann - 認識論的

Immanenzの論証の論証

Realität der Irrationalenの論証の論証

Irrational 論証の論証の論証

① 認識論の論証

論証 (1912, 1914, 1918)

Transcendent Realität (Irrationalität)

その論証の論証の論証 - Grundzüge

故に二つの Idealismus と 異なる所がある

批評

是論

Idealismus の 欠点 不可解決性

第七 現代哲学の中心問題

中心の問題は 何と云ふか Idealismus と Realismus との

争いの中心に 二つの 問題がある Kategorien (Setzer)

① 範疇論の困難

それ以後の 困難を 考へて

Realismus は 二つの 中心問題

現代哲学の中心

② 二つの 中心問題 (批判) 及び 二つの

認識、道徳、藝術、科学の 原理 principia の

全般的 批判

批判 根本批判

人生 (文化) の 永久性

③ 根本原理の 客観性

それは überzeitlich - überräumliches Aus sich

ethologie

ethologie

「認識、道徳、藝術、科学」
の 根本批判

の 根本

1927

第八 書體の本質

① 現代書體と舊體書體

②

③ 舊體の書體の論議

④ 舊體の本質



⑤ 現代文化と書體

⑥ 漢字の書體の歴史

1951
MAY

A large rectangular grid on aged, yellowed paper. The grid is composed of 20 horizontal rows and 40 vertical columns, creating a fine-lined structure for writing. The paper shows signs of age, including a vertical crease down the center and a small tear on the left edge. The grid is mostly empty, with only a small, faint mark visible on the left side.

K

800
500
100
50

1